

6-3

デイサービスから食を支援する

食事の相談は、栄養士にお任せ下さい

低栄養のアセスメント

栄養改善で介護予防

練馬区立 光が丘デイサービスセンター

発表者：管理栄養士 中野薫子	
所在地：東京都練馬区光が丘 2-9-6	
TEL：03-5997-7706	E-mail：
FAX：03-5997-2130	URL：

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	練馬区内全域に点在するデイサービス8ヶ所を、光が丘デイサービスセンターを拠点に栄養管理をしています。また、光が丘デイサービスセンターは高齢者センターを併設し、近隣には緑豊かな光が丘公園、地下鉄が通り交通も便利な施設です。
----------------------------	--

<p style="text-align: center;">〈取り組んだ課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単独デイサービスの栄養士の役割を明確化 ○ 栄養ケア・マネジメントの実施 <p style="text-align: center;">〈具体的な取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 厨房業務委託化による、栄養士業務の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・ デイサービス8ヶ所を定期的に訪問し、状況把握 ・ 低栄養と栄養改善の必要性について、法人内の報告会で多職種に向けて周知 ○ 地域の在宅高齢者へのアプローチ <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族介護者教室で ・ 寄り合い広場事業で ・ 男性の料理教室で ○ 通所のお客様対象の栄養改善実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ スクリーニングで対象者を把握 ・ 関連職種に呼びかけ、協力を依頼 ・ 対象者とご家族に説明 ・ アセスメント実施、カンファレンス開催 ・ 栄養ケアの提供 	<p style="text-align: center;">〈活動の成果と評価〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ティスタッフが、お客様の低栄養状態に気付く目を持つようになり、栄養改善への意識が高まった。 ○ 地域の在宅高齢者が、「食事は大切」・「料理は楽しい」と認識し、次回を期待する声が増加。 ○ 多職種が協力し合い、栄養ケアを提供することで、栄養状態の改善がみられた。 ○ 低栄養のお客様を、栄養ケアの提供に結びつけるポイントがわかった。 ○ 「食事と栄養のことは、栄養士に相談しよう」という会話があちこちから聞こえてくるようになった。 <p style="text-align: center;">〈今後の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ お客様の食事状況を把握しやすい、オリジナルの「食事アセスメントシート」を開発、活用していく ○ 在宅の摂食・嚥下機能低下のお客様に、機能評価と食べやすい食事の提供を、訪問歯科と栄養士が連携して関わっていく。
--	--

【メモ欄】